工業・工場見学

# OHYA UNDERGROUND

［実施主体：LLPチイキカチ計画］

## ▶ 用途に乏しい産業跡地を利用して体験型観光商品を開発
## ▶ 地域の再活性化に取り組んでいた市役所からも後押し

暗闇に差し込む外の光は幻想的

地底湖でのカヤック体験。水温は通年5～6℃

採掘場跡地の一例

### 取組概要 大谷石採掘場跡地を活用した地底湖探検ツアー「道の駅」を拠点とした着地型観光

かつては大谷石の産出で賑わった大谷地区。近年は需要減退に伴い、採掘業者は10分の1まで減り、大谷地区の再活性化が宇都宮市としても課題となっていた。一方で、廃坑となった採掘場跡地は、長年の雨水の流入により、地底湖となったところもあり、探検ツアーに適した環境となっていた。そこで、地域の事業者と宇都宮市が連携し調査を開始、3年の歳月をかけて、地底湖をゴムボートで進む探検ツアーを開発した。光が差し込まない暗闇、広大な地下空間、切り立った白い岩肌、真夏でも涼しい、といった独特の雰囲気が好評を博し、予約がとれない人気ツアーとなっている。

また、地元食材を使ったアウトドアレストラン、里山ハイキング等、他の地域観光資源を組み合わせたツアーも開発。滞在体験型施設としての要素をもち、他の着地型観光事業も行う「道の駅 うつのみや ろまんちっく村」をツアーの中核拠点とする事で、来訪者への地域の魅力の情報発信、地域生産者・近隣住民・観光客を繋げ、地域の利益循環に成功している。

### 地域の特徴

宇都宮市北西部の大谷町を中心とした大谷地区では、江戸時代中期から本格的に大谷石の採掘が進められてきた。最盛期は90億円超を産出していたが、近年はコンクリートブロックの台頭等により、4億円程度まで産出量は縮小、産地である大谷地区では250か所程度あったと言われる採掘場が8か所を残して廃坑、陥没事故等もあり、再活性化が求められていた。

発着地となる「道の駅うつのみや ろまんちっく村」

### 取組体制

道の駅「うつのみや ろまんちっく村」を運営するファーマーズ・フォレスト（宇都宮市）が、川遊びの体験ツアーを企画するネイチャープラネット（日光市）、アウトドアツアー運営のエム・アール・ピー（日光市）と建築設計のビルススタジオ（宇都宮市）と連携し、LLPチイキカチ計画を設立。平成25年5月から地底湖をカヌーで探検するツアーなどのモニターツアーを開始。平成26年4月より本格展開し、ファーマーズ・フォレストが運営する「えにしトラベル」で販売している。宇都宮市も大谷特性活用補助金などで支援している。

遺跡のような採掘場跡地を横に里山ハイキング

### 地域づくりのノウハウ

**課題** 地域産業の衰退、産業跡地の放置

▶ 通常の生活空間にはない独特な雰囲気を活かして、観光ツアーに仕立て上げている。

**課題** 昭和30年代から40年代をピークに衰退した観光産業

▶ 官民一体となり地域PRとツアーを通して飲食店、土産店への誘致を図っている。

**課題** 不法投棄、空き家率約5割の大谷町の再生

▶ 負の遺産と化していた採石場跡地に価値を見直し、大谷石の建物の仲介にも力を入れている。

中核人材

まつもと ゆずる
**松本 謙 氏**

平成19年株式会社ファーマーズ・フォレストを創業、道の駅やアンテナショップ等の経営、農産物直売や特産品の生産流通事業等を展開する栃木県の「地域商社」として機能。平成24年、第二種旅行業事業「えにしトラベル」を立ち上げ、道の駅を核とした着地型観光を本格始動。「農業と食、地域資源を結ぶ総合プロデューサー」として全国各地で農業支援、地域活性化に取り組んでいる。

### 取組成果

大谷石の採掘場跡を利用した地下空間探検。採掘場内の地底湖をカヤック等で進むクルージングや近隣の古民家、里山の自然等と組み合わせた着地型観光商品は予約がとれない程の人気で、地域資源活用の好事例として高く評価できる。大谷石の需要縮小で250か所程度あった採掘場は8か所を残して廃坑、陥没事故等もあり、大谷地区には再活性化が求められていたところ、この取組により地域全体の活性化が期待できる。

「OHYA UNDERGROUND」の累計参加者数

| | |
|---|---|
| 累計参加者数（2年間） | 1,500人 |

お問い合わせ
株式会社ファーマーズ・フォレスト内
えにしトラベル
栃木県宇都宮市新里町丙254番地
TEL：028-689-8782（えにしトラベル）
URL：http://www.farmersforest.co.jp/
http://enishi-travel.jp/